

1 題材名 コンパクトバッグを作ろう

2 題材の目標

- 布を用いた物の製作に関心をもって取り組み、自分や家族の生活を豊かにしようとする。
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- 布を用いた物の製作や生活の工夫について課題を見付け、自分や家族の生活を豊かにするために工夫しようとする。
(生活を工夫し創造する能力)
- 安全で能率よく、布を用いた物の製作をすることができる。
(生活の技能)
- 布を用いた物の製作や生活の工夫に関する基礎的・基本的な知識について理解しようとする。
(生活や技術についての知識・理解)

3 題材について

(1) 教材観

本題材は、中学校学習指導要領「C(3)衣生活、住生活などの生活の工夫」を受けて構成したものである。ここでは、身近な衣服の材料である布を用いた物の製作を通して、自分や家族の生活を豊かにするための工夫ができるようにすることをねらいとしている。製作に当たっては、「C(1)ウ衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ」と関連を図り、小学校での既習事項を発展させ、効果的に活用して製作ができるようにするとともに、安全に配慮した実習ができるようにする。また、製作を通してものづくりの楽しさや完成したときの成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感させることによって、日頃の生活に結びつけ、課題をもってこれからの生活を工夫し、実践しようとする意欲と態度を育てることができると考える。

(2) 生徒の実態

衣生活に関する意識調査結果（平成*年*月*日実施）

①玉止め・玉結びができますか。	できる *人, できない *人
②なみ縫いができますか。	できる *人, できない *人
③ボタン付けができますか。	できる *人, できない *人
④ボタンが取れたらどうしますか。	誰かに直してもらう *人, 自分で直す *人, そのまま着用 *人, 捨てる *人
⑤すそがほつれたらどうしますか。	誰かに直してもらう *人, 捨てる *人, そのまま着用 *人, 自分で直す *人

本学級の生徒は、意識調査の結果から小学校での既習事項である玉止め・玉結び、なみ縫いはきるが、ボタン付けはできない生徒も多いことが分かる。また、ボタンが取れたり、すそがほつれたりした場合には、直して着用する生徒が半数以上だが、自分ではなく、親や家事担当者に任せていることが多く、少数ではあるが、直さずにそのまま着用したり、捨ててしまったりしている生徒もいることが分かる。このような実態から、実生活に生かせる手入れや補修の方法を生かした布を用いた物の製作を通して、衣生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得させることが必要であると考えられる。

(3) 指導観

本題材では、コンパクトバッグの製作の前に、布を用いた物の製作に必要な基礎的・基本的な知識や技術を学習し、練習布でスキルチェックを行う。生徒の実態を踏まえ、裁縫が得意な生徒と苦手な生徒を意図的にグルーピングし、生徒同士の学び合いが活発になるように配慮する。また、事前に基礎縫いの練習をすることで、安心してバッグの製作に取り組むことができ、完成する成就感を全員が実感できるようにしたい。そして、完成後に活用することを考えてバッグを製作することを通して、ものづくりの楽しさやものを大切に作る心、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感できるようにし、課題をもってこれからの生活を工夫し、実践しようとする意欲と態度を育てることができるとしたい。

4 題材の評価規準

ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し創造 する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術について の知識・理解
布を用いた物の製作 に関心をもって取り 組み、自分や家族の 生活を豊かにしよう としている。	布を用いた物の製作や 生活の工夫について解 題を見付け、その解決 を目指して自分なりに 工夫し創造している。	布を用いた物の製作や 生活の工夫に関する基 礎的・基本的な技術を 身に付けている。	布を用いた物の製作や生 活の工夫に関する基礎的 ・基本的な知識を身に付 けている。

5 指導と評価の計画（9時間扱い）

時 間	学習活動・内容	指導上の留意点(○) 評価規準(◎)(観点・評価)
1 2	基礎縫いと補修の技能を確認しよう。 ① 練習布にしるしをつけ、アイロンを かけてしつけ縫いをする。既習事項で ある基礎縫い（なみ縫い）の練習をす る。 ② 補修の技能であるまつり縫いの確認 と練習をする。	○ 練習布の準備をすることで、用具の安全な取 り扱い方を理解させる。 ○ 既習事項である基礎縫いとまつり縫いの練習 をすることで、縫い方を理解させる。 ○ ミシンの台数が限られているので、ミシン縫 いとまつり縫いは、班ごとに順番を調整しなが ら同時進行で作業を進めるようにする。 ◎ 布を用いた物の製作に関心をもって、基礎縫 いの練習に取り組もうとしている。(ア 観察) ◎ 用具を安全に取り扱い、基礎縫いやまつり縫 いができる。(ウ 練習布) ◎ 用具の安全な取り扱い方、基礎縫いやまつり 縫いの縫い方を理解している。(エ 観察, 練習)
3 4 5 6	コンパクトバッグを作ろう。 ～ポケット作りと飾り付け～ ③ ポケットにしるしをつけ、フラップ のなみ縫いをする。 ④ ミシン縫いでフラップを作る。まつ り縫いでポケット口を縫う。 ⑤ ボタンとスナップを縫い付ける。 ⑥ 飾り付けをする。	○ 用具の取り扱い方を確認し、安全に作業がで きるようにする。 ○ 班ごとに順番を調整しながら、ミシンやアイ ロンを使うようにする。 ◎ 布を用いた物の製作に関心をもって取り組 み、自分や家族の生活を豊かにしようとしてい る。(ア 観察, 学習カード) ◎ 自分らしさを表現するために飾り付けの色や デザインを工夫している。(イ 作品) ◎ 基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用し て、安全で能率よくコンパクトバッグを製作で きる。(ウ 観察, 作品) ◎ 製作手順や縫い方、用具の安全な取り扱い方 などを理解している。(エ 観察, 作品)
7 8 9	コンパクトバッグを作ろう。 ～ポケット付けと脇縫い～ ⑦ バッグ本体にポケットを縫いつけ る。しつけ縫いをしてからミシン縫い をする。 ⑧ 両脇をミシンで縫い、完成させる。 まちをつける場合は、両脇を縫った後 にまちの部分縫う。	○ ポケット口をほつれにくく丈夫にする必要 性を理解させる。 ○ 完成後の使用目的を考えて、まちをつけるか 選択させる。 ◎ 布を用いた物の製作に関心をもって取り組 み、自分や家族の生活を豊かにしようとしてい る。(ア 観察, 学習カード) ◎ 使いやすさを考え、縫い方やデザインを工夫 している。(イ 作品)

⑨ アイロンをかけて作品を仕上げる。製作を振り返り、作品表を記入する。作品を発表し、相互評価する。	◎ 基礎的なミシン縫いの技能を活用して、安全で能率よくコンパクトバッグを製作できる。 (ウ 作品) ◎ 製作手順や縫い方、用具の安全な取り扱い方などを理解している。 (エ 観察, 作品)
---	--

6 本時の学習

(1) 目標

- 基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よくコンパクトバッグを製作する。
- 製作手順や縫い方、用具の安全な取り扱い方などを理解する。

(2) 準備・資料

教科書、ワーク、裁縫道具、バッグの材料、学習カード

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点(○) 評価規準(◎)(観点・評価方法)
1 本時の学習課題をつかむ。 コンパクトバッグを作ろう	○ 説明書と板書を使用して、本時の学習課題と活動内容を確認する。
2 ミシン縫いでフラップを作り、まつり縫いでポケット口を縫う。 (1) フラップにアイロンをかける。 (2) ミシン縫いで、フラップを作る。 (3) まつり縫いで、ポケット口を縫う。 (4) ボタン、スナップを縫いつける。 ※ まつり縫いまで終わった場合には、(4)の作業を進める。	○ アイロンや裁縫道具(針・はさみ)、ミシン等を安全に使用するように確認する。 ○ 補足説明の板書や段階見本を準備し、自分に合った方法で作業手順を確認できるようにする。 ○ 積極的に学び合いができるように学習カードを活用する。机間指導をしながら、意欲的に教えている生徒を称賛する。 ○ 欠席等で作業の遅れている生徒には、状況に応じて班の中での学び合いを促す助言したり、個別に支援したりする。 ◎ 基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よくコンパクトバッグを製作できる。 (ウ 観察, 作品) B: 基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よくコンパクトバッグを製作できる。 A: 目的に応じて基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して安全で能率よくコンパクトバッグを製作できる。 ◎ 製作手順や縫い方、用具の安全な取り扱いなどを理解している。 (エ 観察, 作品) B: 製作手順や縫い方、用具の安全な取り扱い方などを理解している。 A: 製作手順や縫い方、用具の安全で効果的な取り扱い方などを理解している。
3 本時の学習を振り返り、次時の学習を知り、準備物を確認する。	○ 本時の学習を振り返り、学習カードを記入する。 ○ 教えてくれた友達のカードに感謝のシールを貼り、お互いを認め合う。 ○ 次時の学習を知り、準備物を知らせる。